

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
菊南運輸倉庫株式会社	本部長	杉田真之介	熊本県	運輸業, 郵便業	<a href="https://kikunan-unyu.jp/">https://kikunan-unyu.jp/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新: 2024年1月30日

### (取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

### (法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

### (契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	現状の業務内容について、取引先や同業他社様または当社従業員等から改善提案がなされた場合は、真摯に協議に応じるとともに、変化を恐れることなく、より良い労働環境づくりを目指して自らも積極的に取り組みます。
2	A ⑧	出荷に合わせた生産・荷造り等	荷造りの遅延によりドライバーもしくは倉庫作業員、事務員へ負担が生じることが無いよう、場合によっては契約内容を見直す等の対応を含め、取引先へ協力を要請します。
3	B ②	運賃と料金の別建て契約	当社業務において運転以外の作業部分を分離することは容易ではないため、運賃と荷役作業料を別建てとした契約内容への見直しを各取引先へ要望し、ドライバーの収入源確保を図ります。
4	B ③	燃料サーチャージの導入	2023年10月頃より主要取引先へ燃油サーチャージの導入について要望を行い、うち1社は同年11月より収受を開始。他1社についても2024年4月より収受することとなっています。
5	D ①	荷役作業時の安全対策	以前から規定により定めていたフォークリフト運転時に加え、2023年11月より荷台扉開閉時にもヘルメットを着用するよう規定を策定しました。
6	B ①	運送契約の書面化の推進	2023年4月より、新規案件については可能な限り書面にて契約を取り交わすこととする社内規約を策定しました。既存の契約についても取引先と協議を行いながら書面化を進めていく予定です。

PR欄	当社ホームページにも謳っているとおり、数年前より『完全ホワイト化』を目指し、社内および取引先と調整を重ねてきました。長い歴史の中で培われてきたものを変更することは容易ではありませんが、時代の流れに適應すべく、特に取引先様との交渉に尽力している最中です。また、2024年1月からは社屋の看板も刷新し、『お客様と彩るホワイト物流』と掲げております。まずは当業界が他業種平均と同等の労務時間・賃金へ追いつき、胸を張って運送業に携わっていると公言できる社会を目指し『ホワイト物流推進運動』に賛同いたします。
-----	---